

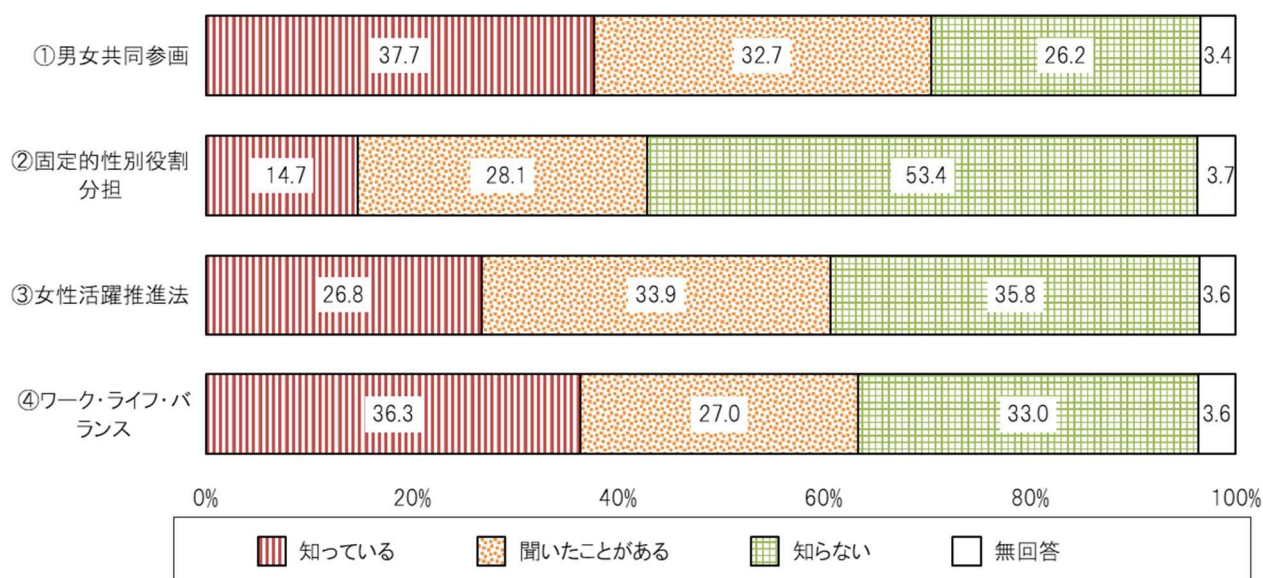
松阪市男女共同参画プラン 策定にかかる意識調査

男女共同参画の意識について

問 35 次のことばについておききします。①～④の項目について、それぞれあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

- ①男女共同参画は「知っている」が37.7%と最も高く、次いで「聞いたことがある」32.7%となっている。
- ②固定的性別役割分担は「知らない」が53.4%と最も高く、次いで「聞いたことがある」28.1%となっている。
- ③女性活躍推進法は「知らない」が35.8%と最も高く、次いで「聞いたことがある」33.9%となっている。
- ④ワーク・ライフ・バランスは「知っている」が36.3%と最も高く、次いで「知らない」33.0%となっている。

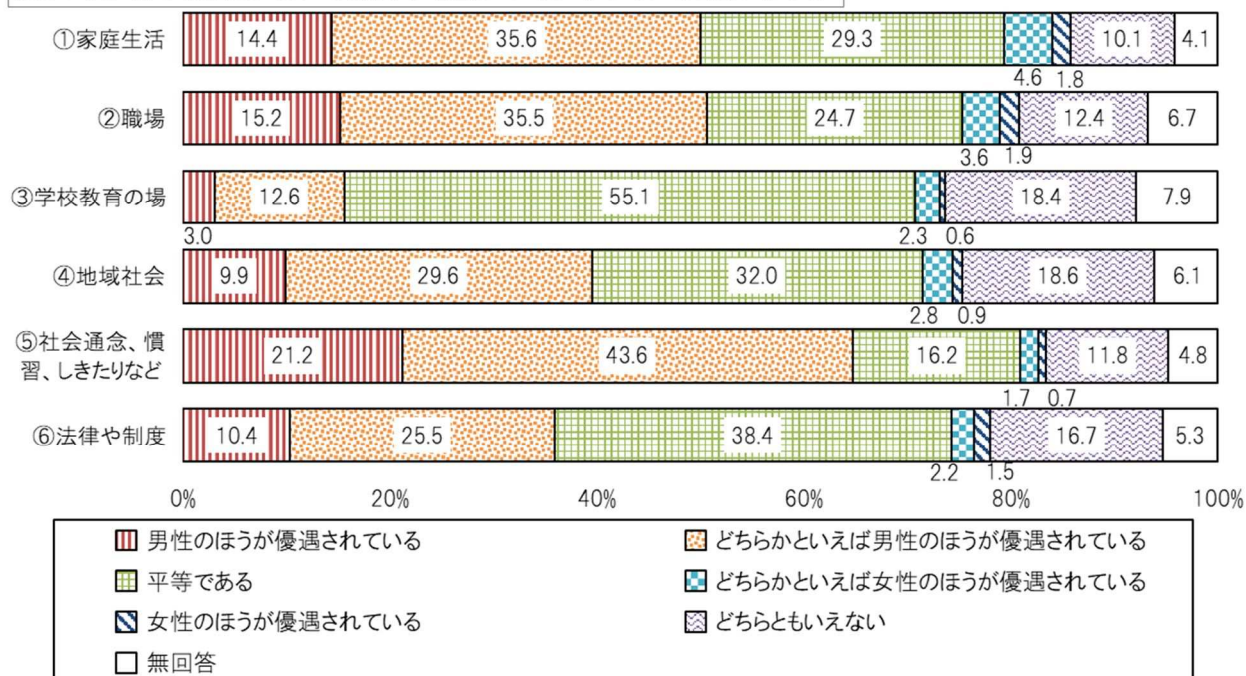
問35 次のことばを知っていますか



問 36 あなたは、次にあげる分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。
①～⑥の項目について、それぞれあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

- ① 家庭生活は「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」が 35.6%と最も高く、次いで「平等である」29.3%となっている。
- ② 職場は「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」が 35.5%と最も高く、次いで「平等である」24.7%となっている。
- ③ 学校教育の場は「平等である」が 55.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」18.4%となっている。
- ④ 地域社会は「平等である」が 32.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」29.6%となっている。
- ⑤ 社会通念、慣習、しきたりなどは「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」が 43.6%と最も高く、次いで「男性のほうが優遇されている」21.2%となっている。
- ⑥ 法律や制度は「平等である」が 38.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」25.5%となっている。

問36 次にあげる分野において男女の地位が平等になっていると思いますか



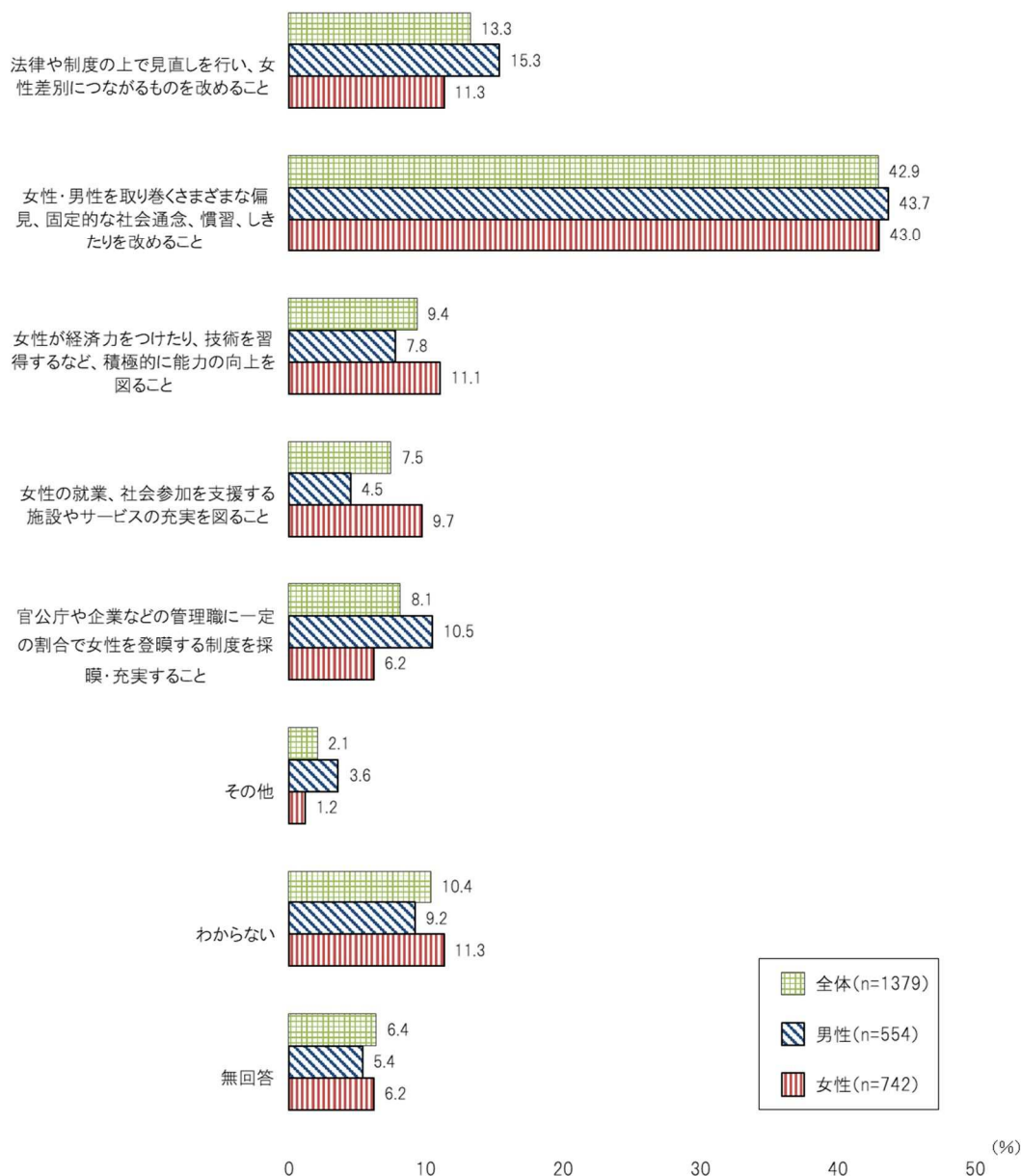
問 37 今後、社会のあらゆる分野で更に男女が平等になるために最も重要だと思うことは何ですか。（○は1つだけ）

「女性・男性を取り巻くさまざまな偏見、固定的な社会通念、慣習、しきたりを改めること」が42.9%と最も高く、次いで「法律や制度の上で見直しを行い、女性差別につながるものを改めること」13.3%となっている。

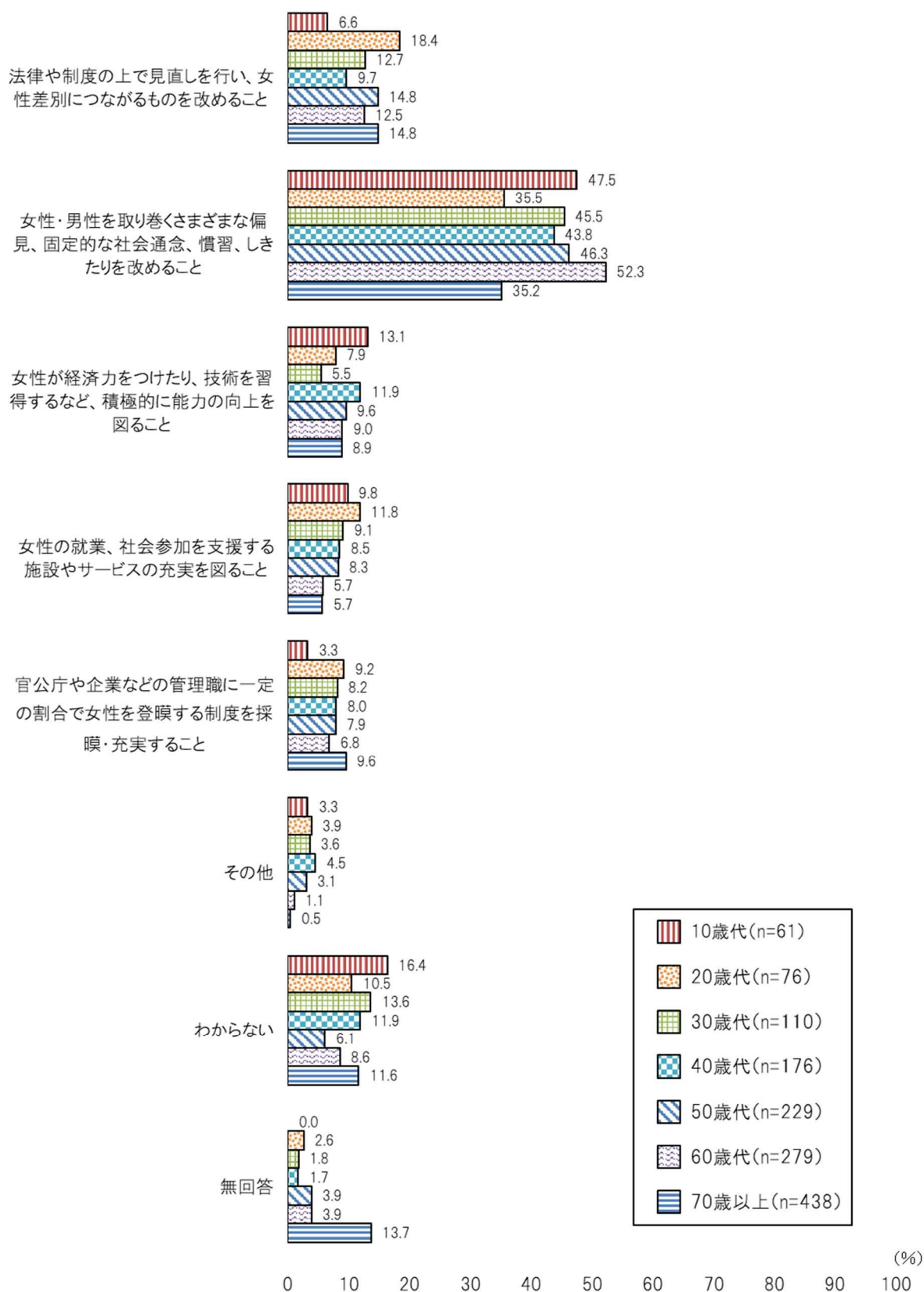
性別にみると、「女性・男性を取り巻くさまざまな偏見、固定的な社会通念、慣習、しきたりを改めること」の割合は、男性が43.7%、女性が43.0%で男性の方が女性よりも0.7ポイント高くなっている。

年代別にみると、「女性・男性を取り巻くさまざまな偏見、固定的な社会通念、慣習、しきたりを改めること」の割合は60歳代で最も高く52.3%となっており、70歳以上で35.2%と最も低くなっている。

問37 今後、社会のあらゆる分野で更に男女が平等になるために最も重要だと思うことは何ですか



問37 今後、社会のあらゆる分野で更に男女が平等になるために最も重要だと思うことは何ですか。



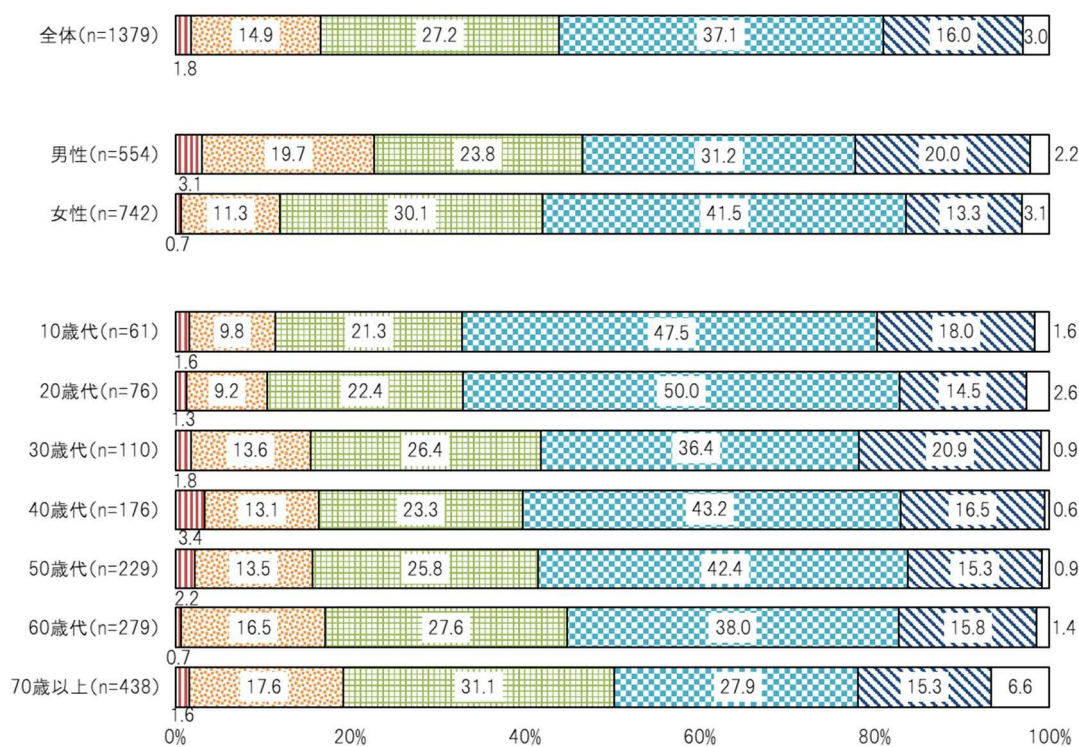
問 38 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どう思いますか。（○は1つだけ）

「反対」が 37.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば反対」27.2%、「どちらかといえば賛成」14.9%となっている。

性別にみると、「反対」「どちらかといえば反対」の合計の割合は、男性が 55.0%、女性が 71.6%で女性の方が男性よりも 16.6 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「反対」「どちらかといえば反対」の合計の割合は 20 歳代で最も高く 72.4%となっており、70 歳以上で 59.0%と最も低くなっている。

問38「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どう思いますか

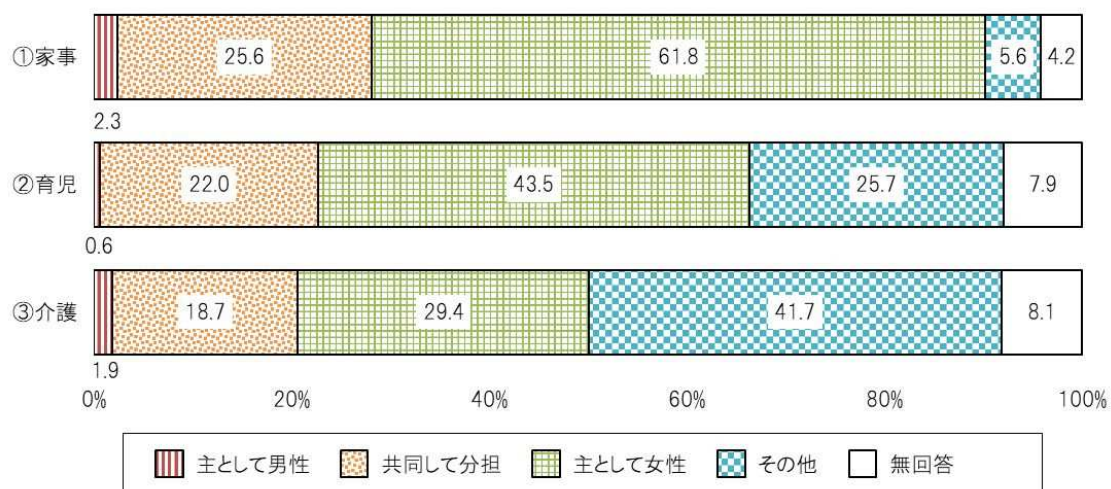


賛成
 どちらかといえば賛成
 どちらかといえば反対
 反対
 わからない
 無回答

問 39 あなたの家庭では次のことについて、主にどなたが行っていますか。①～③の項目について、それぞれあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

- ① 家事は「主として女性」が61.8%と最も高く、次いで「共同して分担」25.6%となっている。
- ② 育児は「主として女性」が43.5%と最も高く、次いで「その他」25.7%となっている。
- ③ 介護は「その他」が41.7%と最も高く、次いで「主として女性」29.4%となっている。

問39 あなたの家庭では次のことについて、主にどなたが行っていますか



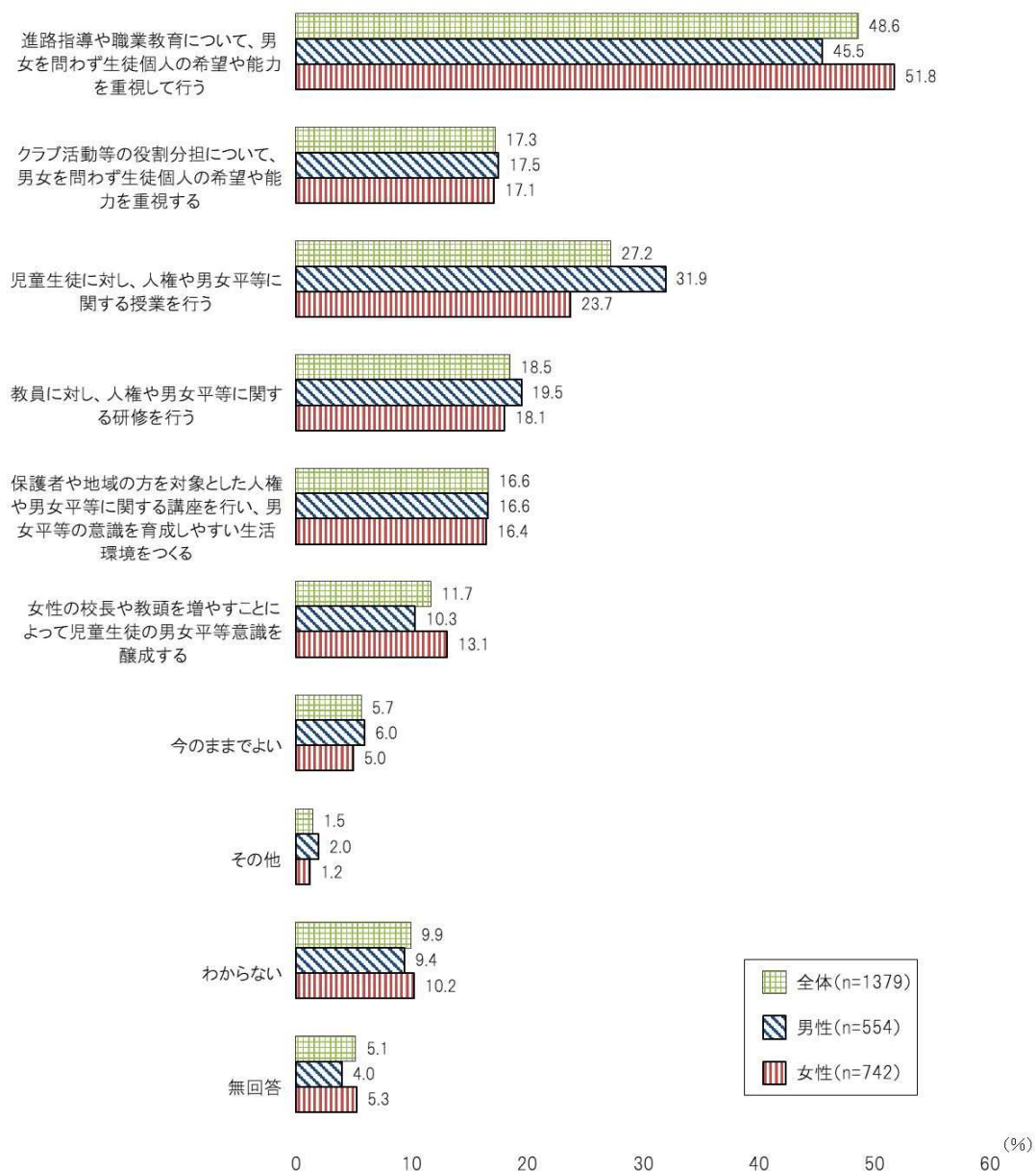
問 40 学校教育で、男女平等意識の育成のために必要だと思うことは何ですか。（○は2つまで）

「進路指導や職業教育について、男女を問わず生徒個人の希望や能力を重視して行う」が48.6%と最も高く、次いで「児童生徒に対し、人権や男女平等に関する授業を行う」27.2%、「教員に対し、人権や男女平等に関する研修を行う」18.5%となっている。

性別にみると、「進路指導や職業教育について、男女を問わず生徒個人の希望や能力を重視して行う」の割合は、男性が45.5%、女性が51.8%で女性の方が男性よりも6.3ポイント高くなっている。

年代別にみると、「進路指導や職業教育について、男女を問わず生徒個人の希望や能力を重視して行う」の割合は30歳代で最も高く53.6%となっており、10歳代で44.3%と最も低くなっている。

問40 学校教育で、男女平等意識の育成のために必要だと思うことは何ですか



問40 学校教育で、男女平等意識の育成のために必要だと思うことは何ですか

